

調布教会 教会学校 週報

2025年度 みことば



「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。」
ヨハネによる福音書3章16aより

きょうかいがっこうれいはい

教会学校礼拝プログラム

2025年 6月22日

ぜん 奏
*賛 美

「ふしぎなかぜが」 こどもさんびか改訂版 94

お祈り

天の父なる神さま、あなたがこの世界を作って私たちに居場所を与え、支えてくださることを感謝します。あなたは光であり、その光の中を歩むようにと招いてくださることを感謝します。わたし自身の中には罪の闇がありますが、あなたはそれを照らして、そして清めてくださる方です。私たちを導いてください。主イエスの御名によって祈ります。アーメン

せい 書
こうどくしへん
交読詩編

ヨハネの手紙 一 1章5～10節 新約聖書 p.429

交読詩編 (18) 詩編136 こどもさんびか改訂版 p.209

説 教

「光の中を歩むなら」

「神には闇が全くない」(Iヨハネ1:5)とはどういうことでしょうか。それは、私たちがどんな場所からも神さまを見つけてあおぐことができるということ、また、私たちが「神さまは自分を見てはおられない」と思っている、神さまの光が届かないところはない、ということではないでしょうか。

だから私たちは神さまがいつもともにいてくださることを信じて生きることができます。もっとすばらしいことは、そのように神さまの光の中を歩むとき「御子イエスの血によってあらゆる罪から清められます。」(Iヨハネ1:7)と約束されていることです。

すべてを照らす光である神さまの前に出て、罪を清めていただき、この光の中を生きていきたいと思えます。

暗唱聖句

しかし、神が光の中におられるように、私たちが光の中を歩むなら、互いに交わりを持ち、御子イエスの血によってあらゆる罪から清められます。(ヨハネの手紙 一 1章7節)

黙想タイム

*賛 美

「聖霊にわたしを」

献金と感謝のお祈り 24-1

*主の祈り

天にまします我らの父よ。願わくは御名をあがめさせたまえ。御国を来たらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を今日も与えたまえ。我らに罪を犯すものを我らが赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ。我らを試みにあわせず、悪より救いいたしたまえ。国と力と栄えとは、限りなくなんじのものなればなり。 アーメン

お知らせ

- ・今日は教会学校の遠足です。東村山市にあるハンセン病施設多磨全生園に行きます。12時に昼食、12時半には車で出発です。4時には帰ってきます。
- ・教会に来られない時は、LINEを利用して家庭礼拝をおさげしましょう。
- ・次週の礼拝は6月最後の礼拝です。この月も守られたことを感謝しましょう！

*賛 美

36 いまでかけよう

*祝 福

八木 浩史 牧師

*後 奏

<せいしょ>

5 私たちがイエスから聞いて、あなたがたに伝える知らせとは、神は光であり、神には闇が全くないということです。6 神と交わりを持っていると言いながら、闇の中を歩むなら、私たちは偽りを述べているのであり、真理を行ってはいません。7 しかし、神が光の中におられるように、私たちが光の中を歩むなら、互いに交わりを持ち、御子イエスの血によってあらゆる罪から清められます。8 自分に罪がないと言うなら、自らを欺いており、真理は私たちの内にありません。9 私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、あらゆる不正から清めてくださいます。10 罪を犯したことがないと言うなら、それは神を偽り者とするのであり、神の言葉は私たちの内にありません。

<さんび>

ふしぎなかぜが

1. ふしぎなかぜが びゅうっとふけば
なんだかゆうきがわいてくる
イエスさまの おまもりがきつとあるよ
それがせいいいのはたらきです
主イエスのめぐみは あのかぜとともに
2. ふしぎなかぜが びゅうっとふけば
いろんなことばのひとたちも
そのひから ともだちに きつとなれる
それがきょうかいのはじまりです
せかいのへいわも あのかぜとともに
3. ふしぎなかぜが びゅうっとふいて
こころのなかまでつよめられ
かみさまのこどもに きつとなれる
それがあたらしいまいにちです
わたしのいのちも あのかぜとともに



せいれい わたし 聖霊に私を

せいいいにわたしを ゆだねますいま
みこころにわたしを みちびいてください
つばさをひろげ かぜにのるとりのように
みこころのおおぞらを たかくまいたい
しゅのあいにくたえるため あたらしくつくりかえて
あなたのあついおもいで もやしつづけてください

